

## 畜産

### 実況

#### 1 平成28年度第9回石川・福井合同肉牛枝肉販売会（平成28年8月1日）

		頭数	単価 (円)	販売価格 (円)	枝肉重量 (kg)	BMS (No.)	ロース芯 面積 (cm <sup>2</sup> )	上物率 (%)
去勢	福井	24	2,812	1,438,523	510.6	7.5	63.2	88
	全体	51	2,782	1,420,918	509.7	7.5	63.8	94
雌	福井	11	2,744	1,284,196	467.8	6.2	59.6	91
	全体	25	2,551	1,115,901	434.4	5.9	58.3	84

全体の最高価格は、1,951,195円、去勢牛(花国安福×平茂勝×紋次郎)、28.0カ月齢、A-5(BMSNo12)、枝肉重量565.4kg、ロース芯面積80cm<sup>2</sup>であり、出生地は石川県であった。福井の枝肉単価は、前回より、去勢で133円安く、雌で117円安かった。

#### 2 平成28年度第10回石川・福井合同肉牛枝肉販売会（平成28年8月22日）

		頭数	単価 (円)	販売価格 (円)	枝肉重量 (kg)	BMS (No.)	ロース芯 面積 (cm <sup>2</sup> )	上物率 (%)
去勢	福井	11	2,697	1,278,831	474.9	7.3	59.3	91
	全体	42	2,462	1,188,360	483.6	7.2	60.6	98
雌	福井	5	2,483	1,110,918	447.1	6.0	52.8	80
	全体	13	2,383	1,073,439	451.5	6.1	55.9	62

全体の最高価格は、1,503,892円、去勢牛(秀菊安×勝平正×福桜(宮崎))、29.2カ月齢、A-5(BMSNo11)、枝肉重量513.8kg、ロース芯面積76cm<sup>2</sup>であり、出生地は宮崎県であった。福井の枝肉単価は、前回より、去勢で115円安く、雌で261円安かった。

### 対策

#### ■今月の重点ポイント

- ・家畜にストレスを与え、秋に発生最盛期となるサシバエ対策を徹底する。
- ・家畜の夏バテ防止を図るため、暑熱対策に継続して取り組む。
- ・稲発酵粗飼料(WCS)等の適期収穫により、良質なサイレージを調整する。
- ・稲作農家と畜産農家の連携を図り、良質な稲わら収集に努める。

#### 1 サシバエ対策の徹底

「9月下旬～10月上旬に発生最盛期となるサシバエ」は雄雌とも吸血性であり、針のような長い口吻で皮膚を刺し、数分かけて自分の体重と同程度の量を吸血する。サシバエの吸血時には強い痛みを伴うため、牛はストレスや採食量の減少から、増体重減少・乳量低下・乳房炎等を引き起こしやすくなる。また、牛白血病等の感染拡大を防止するためにも、その発生対策が重要である。

- (1) ハエの休息場所である畜舎周辺の草刈り、家畜排せつ物の適正処理、残飼の早期処分、畜舎内清掃を徹底するとともに、畜舎周囲に防虫ネットを設置する。
- (2) 牛白血病抗体陽性牛とは分離して飼育する。その牛房には防虫ネットを設置する。
- (3) IGR剤(脱皮阻害剤)をバーククリーナーや堆肥舎等の幼虫の生息場所に散布する。

## 2 家畜の夏バテ防止対策

- (1) 暑熱による家畜への影響は、真夏よりも朝夕の気温が下がる9月に現れやすいので、畜舎内の換気と送風、日よけを適切に行うと共に、給水設備の清掃をこまめに行い、いつでも新鮮な水を十分に飲めるように、暑熱対策を継続する。
- (2) 飼料タンク内の飼料にカビが発生していないか確認するとともに、給餌機等の衛生状態を確認し、清潔な飼料の給与に努める。
- (3) 分娩前後の家畜個体管理は綿密に行い、食欲の低下等の異常が認められた場合は、こまめに体温を計測し、必要に応じて獣医師の診察を受ける。

## 3 良質サイレージの収穫・調整

- (1) 稲発酵粗飼料（稲WCS）の収穫適期は、粃の消化性と脱粒性を考慮してTDN含量が最大となる黄熟期（出穂後25～40日）を基本とする。調整作業では、密封性を高めるため、バールラッパーによるラッピングは6重巻き以上とする。また、降雨直後の作業は発酵品質が低下するので、日程に余裕を持たせるように計画する。
- (2) どうもろこしサイレージの調整は、黄熟期の適期収穫と速やかな詰め込み・密封に努める。収穫時の切断長は10mm程度とする。二次発酵を防止するため、プロピオン酸の添加が有効である。
- (3) ラップフィルムの破損を防ぐため、移動運搬する際は丁寧な取扱いに努める。ラップフィルムに穴が開いた場合は、粘着性の高いテープを用いて速やかに補修する。

## 4 耕畜連携による稲わらの収集

稲作農家と畜産農家の間で、刈取時期と収集方法について随時確認を行いながら、効率的に作業を進め、良質稲わらの確保に努める。稲わらの乾燥状態が不十分な場合は、サイレージとして調整し有効利用を図る。

■ 坂井管内の肉牛農家で実証試験中のサシバエ対策を紹介する。

・調査研究課題：台所用洗剤と水槽用エアポンプを活用したサシバエ・アブ対策

・はじめに：この取組みは、M肉牛農家さんが、長靴消毒用の踏込消毒液の泡の中にアブが死んでいることに注目し、泡を継続して発生させるにはどうすればよいのかを考え、消毒液と水槽用エアポンプで誰でも簡単にできるサシバエ・アブ捕殺装置を開発したのがきっかけである。普及指導員がサシバエ対策効果の高さに着目し、農家と一緒に装置の効果を検証するに至った。

その後、肉牛の発育調査活動支援チーム（坂井農林総合事務所 普及指導員、JA花咲ふくい 営農指導員、家畜保健衛生所 獣医師、畜産試験場 肉牛担当、農業試験場 高度営農支援課 職員）で研究内容について意見が出され、台所用洗剤での活用や、泡の大きさによる効果の違いを調査したものである。

・担当部署：坂井農林総合事務所 農業経営支援部

1 【目的】：気温が上がる春～秋にかけて畜産農家ではサシバエやアブが多発する。吸血されると牛のストレスが高まり、枝肉成績に影響する可能性もある。今回、農家が水槽用エアポンプを活用したサシバエ・アブ捕獲器を開発したので、その効果について検証する。

2 【方法】：

・実施期間 平成28年7月～平成28年8月

・対象 和牛肥育農家 1戸

・調査項目 各項目において、サシバエとアブの捕獲数を調査。

水槽用エアポンプ(以下エアポンプ)の稼働は、午前9時～午後6時。

3日間稼働し、4日目の朝に捕獲数を調査。

台所用洗剤は、界面活性剤混合割合が33%のものを使用。

① 家畜用消毒液のみと、エアポンプ追加時の効果の比較

「水3ℓに家畜用消毒液100mlを入れた洗面器」

と

「水3ℓに家畜用消毒液100mlを入れた洗面器」 + エアポンプ

② 家畜用消毒液と台所用洗剤液の効果の比較

「水3ℓに家畜用消毒液100mlを入れた洗面器(3.2%消毒液)」 + エアポンプ

と

「水3ℓに台所用洗剤液100mlを入れた洗面器(3.2%洗剤液)」 + エアポンプ

③ 適切な台所用洗剤液の濃度について比較

「水3ℓに台所用洗剤30mlを入れた洗面器(0.99%洗剤液)」 + エアポンプ

と

「水3ℓに台所用洗剤50mlを入れた洗面器(1.64%洗剤液)」 + エアポンプ

④ 泡の大きさの違いによる比較

「水3ℓに台所用洗剤30mlを入れた洗面器(0.99%洗剤液)」 + エアポンプ

と

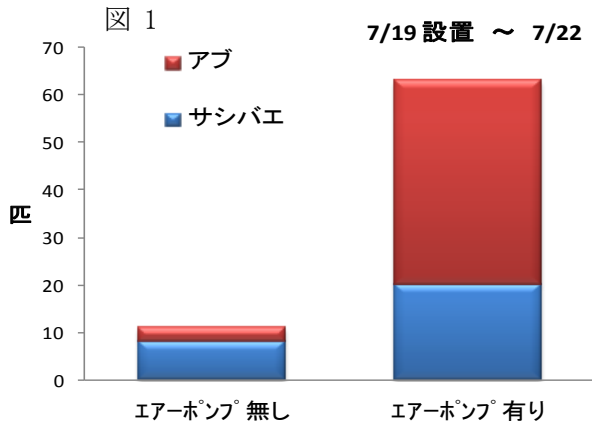
(エアストーン有り)

「水3ℓに台所用洗剤30mlを入れた洗面器(0.99%洗剤液)」 + エアポンプ

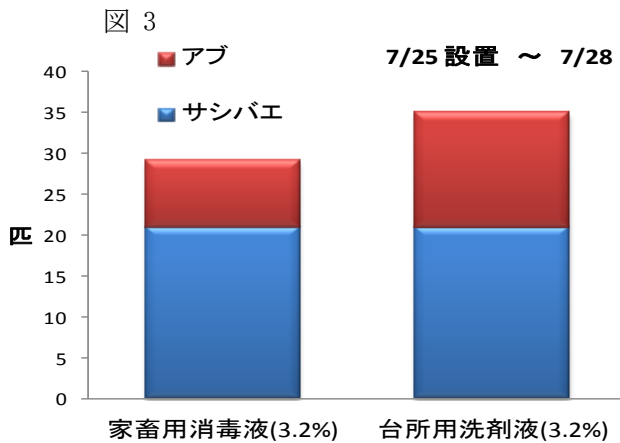
(エアストーン無し)

### 3 【結果の概要】

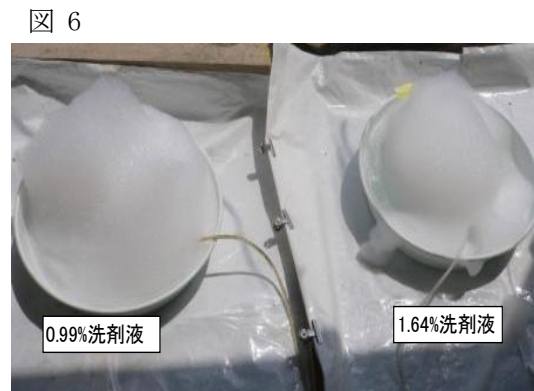
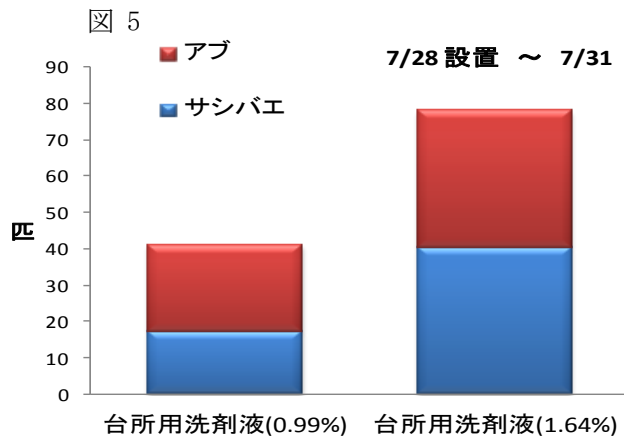
① 家畜用消毒液にエアポンプを入れることにより発生した泡で、サシバエ・アブともに捕殺できた（図 1、2）。



② 台所用洗剤液でも、家畜用消毒液と同等の効果が見られた（図 3、4）。コストは家畜用消毒液が 54 円/100ml、台所用洗剤液 40 円/100ml となった。



③ 台所用洗剤液は泡持ちが良いため、適切な濃度を検証した。濃度 0.99%以上の台所用洗剤液で 4 日間泡は保たれ、サシバエ・アブとも捕獲できるが、濃度は濃い方が捕獲数は多かった（図 5、6）。コストは濃度 0.99%で 12 円/30ml（4 日間）であった。



- ④ エアストーンがある方が泡の形が保たれ、捕殺数も多かった（図7、8、9）

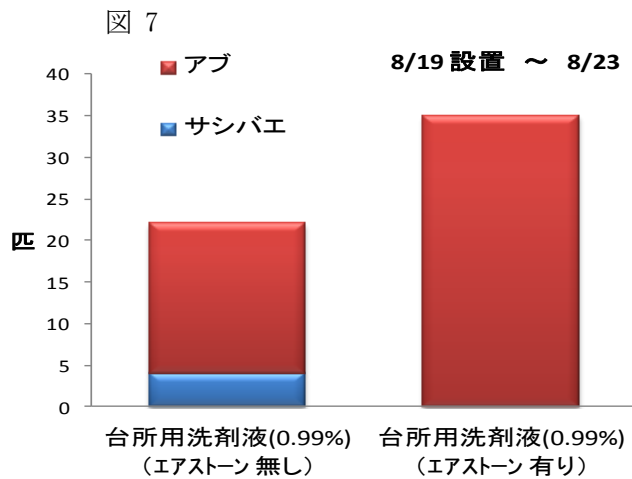


図9 台所用洗剤液に付着するサシバエ



#### 4 【考察】

- ① サシバエ、アブともに家畜用消毒液や台所用洗剤液とエアーポンプによってできる気泡により捕殺できた。誘引された個体は、消毒液や洗剤液が羽に付着することによって飛べなくなり、捕殺できたと考えられる。
- ② 確実に捕殺するためには、気泡がある程度の大きさで保たれていることが必要である。0.33%台所用洗剤液でも検証したが、泡は洗剤液作成当日しか保たれなかった。そのため、0.99%程度の台所用洗剤液でエアストーンも装着して気泡を保つことにより、最も効率よく捕殺できると考えられる。
- ③ 天気、床替えの状況によりサシバエの数は変動したが、アブは調査期間中、一定して捕獲できた。

#### 5 【運用上の注意点】

- ① 捕獲器は、風通しの良い、アブやサシバエの通り道に設置する。
- ② 4日程度で液を交換する必要がある。泡立ちが悪くなった場合は、水を追加するとよい。
- ③ サシバエ、アブ以外の小型のハエや蚊も捕殺できる。夜間は捕虫器を設置することで、より効率的に捕殺できる。
- ④ サシバエ防除の基本はこまめな床替えなど衛生環境をよくすることであり、それと併せて対策を徹底する。